

もいのにぎわい通信

2021年9月25日 定例活動報告・9月11日臨時活動合併報告

日時：2021年9月25日（土）9：00～11：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 20～25℃ 湿度 73% 風向 東北東 風速 3.5m

参加者：25人：子ども6人、大人19人（内土地改良区0人）

日時：2021年9月11日（土）9：00～11：30

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 23～29℃ 湿度 85% 風向 南西 風速 1.6m

参加者：11人：子ども2人、大人9人（内土地改良区0人）

■活動

9：00 集合

9：30 作業開始

クズの蔓切、除草作業、クリ拾い

10：30 休憩

除草作業、クズの蔓切、土嚢のトラックから下ろしと配置

11：30 片付・解散

■活動報告

本日のテーマはいつもの雑草処理以外に土嚢積みとクリ拾いです。

土嚢積みは、東側の崩れた崖がこれ以上崩れないように土嚢を積むという作業です。根本的に改善に結びつくものではありませんが、崩れている側に表層を伝わって水が流れないようにするという対策を市の担当者や元土木専門家にアドバイスされています。Mr. & Mrs. 星野が注文していた土嚢50袋を受け取りにカインズ茂原店に出かけました。トラックを貸すから自分で運べということで、お金をセーブしようと思うと仕方ないですね。星野夫妻が土嚢ピックアップにご足労している間に、土嚢を積む予定の場所に4人が刈払機がけを行い、残りの19人がクリ拾いを行いました。

クリ拾いのチーム19人は大人13人、子供6人という構成でした。9/11にもクリ拾いをしているので十分なクリがあるのか心配でしたが、タイミングが合っていたようで秋の実りをたっぶり収穫できました。ただ収穫作業は大変で高い所にある枝のイガグリを落とすのは結構難しい作業です。腕も首も痛くなってしまいます。またイガグリでケガをしないように実を取り出すのは大変なことです。もう少し弾けている実を落としているわけですが、靴を使ってイガを広げて針をさけながら実を取り出すのは危険ですから小さい子には無理な作業です。でも子供達も集めるのを頑張って、各家庭にお土産になるほどたくさん収穫できました。

一方、刈払機を使うチーム4人は、高い草が生い茂っているため崖の始まり位置が良く分からないのでビビりながらの作業でした。雑草を刈りこむと崩れている位置がよくわかり、更なる崩れの可能性も見えてきました。崖側に壁を作って中央を通る排水溝に落とすように造る計画です。基本的にこの道路の造りは両サイドが少し高くなっているようですので、排水溝のキャパシティを超えると両側に水がいくことになりそうですから、刈った雑草の片付けや排水溝の掃除が重要かもしれません。

ちょうどこの刈払機の作業が終わるころには、土嚢を積んだ Mr. & Mrs. 星野が運転するトラックが帰ってきました。25キロの50袋ですから1.25トン、茂原のカインズからあすみが丘へ坂を登ってくるのは大変だったようです。クリ拾いをしていたチームからも加わってもらい、総出で土嚢をトラックから降ろして配置する作業を行いました。25キロは結構重くて腰を痛めないよう心配しながらの作業でした。水の流れをしっかりと止めるにはもう一段積んだ方が良さそうだということになり、次回さらに50袋の作業を計画することにしました。

今回は新たな参加者も多く、スパイラックス・サーコリミテッドさんから佐口さんと小川さんのご参加をいただきました。徳武さんは茨城から車で2時間をかけて参加してくれました。横田さんご一家は和田さんのご親戚ですが3年ぶりの参加とのこと。また、9月11日の臨時お手入れ会では、佐倉から山本さんが、関口さんが父子2人で参加してくれました。

皆さん本当にお疲れ様でした。お天気が良くて秋を満喫できて何よりでした。

記録：金井章男

.....
お知らせホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、10月23日(土)(雨天の場合10月24日(日))に開催します。

土嚢積、除草作業、クズの蔓切、樹木剪定、キウイ収穫等、作業はコロナ禍の為、午前中のみとします。



集合写真 9月25日 撮影者=金井



集合写真 9月11日 撮影者=和田

作業開始



土嚢積開始



25kg 土嚢を手渡しで運ぶ。



いい運動になりました。



人力作戦で無事土嚢積完了



恒例のクリ拾い クリを竿で落とし、その後落ちたクリをカガリを取り、収穫





9月11日収穫



9月25日収穫



休憩 各自でソーシャルディスタンスをとりながら



